

加古川市健やか親子21(第2次)計画骨子(案)

基本理念	基本目標	現状と課題		目標と取り組み
		課題(指標)	現状	
すべ ての 子 ど も が 健 や か に 育 つ ま ち	(1) 切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策の充実	(1) 妊娠・出産について満足している人の割合	出産後退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができたと思う人の割合は75.2%である。	<p>(1) 妊娠・出産・育児期における母子保健事業の充実を目指します</p> <p>(2) 関係機関との連携の強化を図ります</p> <ul style="list-style-type: none"> 妊娠、出産・育児についての正しい情報提供 子育てについての不安を相談できる体制整備 妊婦健康診査の推進 妊娠期からのうつ病対策 かかりつけ医師歯科医師を持つことの啓発 予防接種の推進 喫煙対策 乳幼児健診や健診後の支援体制の充実 ハイリスク妊産婦へ医療機関等と連携した支援
		(2) 出産後1か月時の母乳育児の割合	出産後1か月時の母乳育児の割合は55.3%である。	
		(3) 産後1か月でEPDS9点以上の褥婦の割合	最終評価では国の値9.0%であるが平成26年度加古川市では15.9%である。	
		(4) 妊娠11週以下での妊娠届出率	妊婦健診費用助成の拡充により妊娠11週以下の早期に届出る割合は92.0%と増加した。	
		(5) 妊娠中の妊婦の喫煙率	4か月児を持つ母親について、妊娠中の喫煙率は1.9%である。	
		(6) 育児期間中の両親の喫煙率	児の年齢があがるにつれ両親の喫煙率は高くなっており3歳児では母6.5%、父32.6%が喫煙している。	
		(7) 妊娠中の飲酒率	4か月児を持つ母親について、妊娠中の飲酒率は1.4%である。	
		(8) 乳幼児家庭全戸訪問事業実施率	平成26年度乳幼児家庭訪問事業実施率は96.4%である。	
		(9) 乳幼児健診受診率	乳幼児健診の受診率は、4か月児:93.9%、1歳6か月児:96.0%、3歳児:96.1%である。	
		(10) 小児救急電話相談(＃8000)を知っている親の割合	小児救急電話相談を知っている人の割合は75.6%である。	
		(11) かかりつけ小児科医・歯科医を持つ親の割合	かかりつけ小児科医をもつ人の割合は4か月児の親では93.9%、3歳児の親では96.8%。かかりつけ歯科医をもつ人の割合は3歳児46.7%である。	
		(12) 予防接種接種率	1歳までにBCGをしている人の割合は99.4%、1歳6か月までに三種混合、麻疹の予防接種を終了している人の割合はそれぞれ99.4%、91.6%である。	
		(13) 毎日仕上げ磨きをする親の割合	毎日仕上げ磨きをする親の割合は65.9%である。	
		(14) むし歯のない3歳児の割合	3歳児でむし歯がないのは83.4%である。	
保・健 対 策 期 の 充 ら 実 成 人 期 に 向 け た	(2) 学童期・思春期から成人期に向けた	(15) 児童・生徒の痩身傾向児の割合	肥満度-20%以下の割合は小5男子1.04%、小5女子2.4%、中2男子5.4%、中2女子4.0%である。	<p>(1) 児童生徒自らが心身の健康に関心を持ち、健康づくりに取り組める体制づくりを行います</p> <p>(2) 関係機関が連携した普及啓発を強化します</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校と連携した思春期教育 中学生と赤ちゃんとのふれあい促進 歯肉炎予防対策 保護者への思春期健康教育 養護教諭への普及啓発
		(16) 歯肉に炎症のある十代の割合	・中学生の歯肉炎の割合は5.2% ・中学生が歯肉炎の原因を知っている割合は約3分の1である。	
		(17) 十代の喫煙率	中学2年生の喫煙率(喫煙したことがある人の割合)は男子6.0%、女子4.5%である。	
		(18) 十代の飲酒率	中学2年生の飲酒率(飲酒したことがある人の割合)は男子26.4%、女子31.4%である。	
		(19) 正しい避妊法を知っている高校生の割合	避妊法を正確に知っている高校2年生の割合は男子38.8%、女子47.1%である。	
		(20) 家族や周囲の人に大切にされていると思う中高生の割合	家族や周囲の人に大切にされていると思う中学生は74.6%、高校生は78.8%である。	
		(21) 将来子どもがほしいと思う中高生の割合	将来子どもを欲しいと思う中学生は82.9%、高校生は82.1%である。	
		(22) 小さな子どもとふれあう機会があった中高生の割合	小さな子どもとふれあう機会があった中学生は80.7%、高校生は63.9%である。	
環 境 や か な り 成 長 を 見 守 り 育 む	(3) 子どもの健やかな成長を見守り育む	(23) この地域で子育てをしたいと思う親の割合	今後もこの地域で子育てをしたいと思う親の割合は4か月児を持つ親では96.9%、1歳6か月児では92.4%、3歳児では96.9%である。	<p>(1) 育児不安の軽減を図ります</p> <p>(2) 子育て世代の親を孤立させないような環境づくりに取り組みます</p> <ul style="list-style-type: none"> 育児相談の充実 育児情報の提供 事故防止についての普及啓発 父親への育児参加の促進 就労妊婦への情報提供
		(24) 妊娠中、仕事を続けることに対して職場から配慮されたと思う就労妊婦の割合	妊娠中に職場から配慮されたと思っている就労妊婦は88.8%である。	
		(25) マタニティマークを妊娠中に使用したことがある母親の割合	マタニティマークを知っていた98.5%のうち、妊娠中にマタニティマークを使用したことがあるのは67.5%である。	
		(26) 両親学級に参加する妊婦等の割合	・平成26年度両親学級参加実人数は妊婦455人、夫等393人で、86.4%が夫等同伴での参加である。 ・平成26年度妊娠届出があった初産1,101人の41.3%に相当する妊婦が参加している。	
		(27) 育児の相談相手がいる人の割合	育児の相談相手がいる割合は、4か月児:100%、1歳6か月児:99.6%、3歳児:99.6%である。	
		(28) 積極的に育児している父親の割合	積極的に育児している(育児をよくやっている)父親の割合は4か月児:63.2%、1歳6か月児:63.5%、3歳児:54.6%である。	
		(29) 乳幼児がいる家庭で風呂場のドアを乳幼児が自分であけることができないよう工夫している家庭の割合	風呂場のドアを乳幼児が自分であけることができないよう工夫している1歳6か月児を持つ親の割合は42.0%である。	
重 点 目 標	育 て に く さ を 防 止 対 策 の 充 実	(30) ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合	ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合は4か月児:96.3%、1歳6か月児:94.3%、3歳児:90.4%で、年齢が上がるごとに減っている。	<p>(1) 育てにくさを感じた親への支援の充実を図ります</p> <p>(2) 虐待の発生予防、早期発見早期対応に努めます</p> <ul style="list-style-type: none"> 育児相談の充実 発達相談の充実 発達障害についての正しい情報提供 乳幼児健診未受診者への対策 関係機関と連携したハイリスク家庭への支援
		(31) 育てにくさを感じた時に対処できる親の割合	育てにくさ(いつも・時々)感じた親は4か月児:6.8%、1歳6か月児:16.3%、3歳児:30.5%である。そのうち、相談先等を知っているなどの解決する方法知っているのは4か月児:72.2%、1歳6か月児:85.7%、3歳児:85.7%である。	
		(32) 子どもの社会性の発達過程を知っている親の割合	・4か月児:生後半年から1歳頃までの多くの子どもは「親の後追いをすることを知っている親の割合は89.8%である。 ・1歳6か月児:1歳半から2歳頃までの多くの子どもは「何かに興味を持った時に、指さしで伝えようとする」ことを知っている親の割合は93.9%である。 ・3歳児:3歳から4歳頃までの多くの子どもは「他の子どもから誘われれば遊びに加わろうとする」ことを知っている親の割合は85.7%である。	
		(33) 虐待による死亡数	虐待による死亡数は平成25年度0人である。	
		(34) 乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)を知っている親の割合	乳幼児揺さぶられ症候群を知っている親の割合は94.0%である。	